



# 小又川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～小又川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

● 小又川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 小又川などにおいて、河道掘削、樹木伐採、堤防強化等を実施する。また、水位周知河川以外の小規模河川について、洪水浸水想定区域図及び洪水ハザードマップを作成する。これに加え、令和6年奥能登豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえて策定した「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」に基づき、関係機関が連携した緊急的かつ一体的な取り組みを推進し、被災した護岸の応急復旧、堆積土砂の撤去等の応急対策を完了させる。

【中期】 短期に引き続き、「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」に基づき、被災した河川、砂防関係施設の復旧等を完了させ、上流域における対策等の取り組みを推進する。

【中長期】 「奥能登地区緊急治水対策プロジェクト」以外の事前防災対策を引き続き推進し、流域全体の治水安全度を向上させる。また、洪水ハザードマップの周知やマイタイムラインの作成、要配慮者利用施設等における避難計画の作成及び避難訓練実施の促進などにより、避難体制の強化を図るとともに、防災の観点を取り入れたまちづくりを推進するため、立地適正化計画(防災指針)の策定に努める。



緊急プロ  
緊急プロ以外

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※令和6年奥能登豪雨発生から奥能登地区緊急治水対策プロジェクト策定までの期間に実施した対策について、既存の流域治水プロジェクトに位置付けていない災害復旧などの対策は改訂の対象外とした。 R7.5末

R12.3末